

震災より一年

被災された皆様へ

H23年3月11日に発生した巨大な地震と津波により、死者1万5,854人行方不明3,155人避難34万3,935人・・・たくさんの尊い命が奪われたあの日から一年。また、原発事故により未だに多くの方が元の場所での生活ができず、まだまだ先が見えない状態が続いています。

どれだけ涙を流しても、忘れることは出来ないかもしれません。きっといつかまた、あの懐かしい風景や町が取り戻せる日が来るのを信じています。その日まで私たちは、皆さんへの気持ちを忘れずこれからも応援し続けていきたいと思っています。

★・・・年越しそば寄贈の報告とお礼・・・★

私どもの組合では、昨年暮れに岩手県沿岸地域の老人福祉施設の方々とそこで従事していらっしゃるスタッフの方々に「年越しそば」を寄贈させていただきました。

新聞・ラジオ・手紙などで呼びかけた結果、30施設 そば・うどん合計2,790食の申込を頂き、たくさんの方に召し上がっていただくことができ、組合員一同大変嬉しく思っております。

本来であれば私どもが出向き、調理して差し上げなければならなかったのですが、何ぶんにも製麺業者にとって一年で一番多忙の時期でもあり、誠に申し訳ございませんでした。それにもかかわらず、施設の皆様より心のこもったお礼状やお電話もいただきました、心よりお礼を申し上げます。

岩手の冬は長く厳しいですが、間もなく暖かい春がやってきます。福寿草やふきのとうが芽を出し、やがて桜の季節となります。春の息吹と咲き誇る花々の美しさが、被災地の皆様の心を励まし癒してくれる事を心から願っております。



岩手県生めん協同組合
事務局 萩原 とも子
平成24年3月12日